

## 「認知症安心ガイドブックについてのご意見」

### ●川俣 春江委員

【項目 (P. 7. 9. 10)】: 受診する かかりつけ薬局

【内容】: かかりつけ薬局(薬剤師訪問)となっていますが、医師も歯科医師も(通院・訪問)となっているため、かかりつけ薬剤師(通院・薬剤師訪問)と通院も入れた方が、良いように思います。

【項目 (P. 16)】: 図

【内容】: かかりつけ医療機関という一括りでなく、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師とした方が、利用が広がるのではないのでしょうか。

### ●野村 まゆみ委員

【内容】: 各自によって、受け止め方が違いどうまとめていいか迷い、箇条書きですが、そのまま記入しました。

- ・全体に文字が多い為一般の方(高齢者に)読みにくさを感じるような気がします。絵をもう少し入れてもらえると入りやすいです。
- ・専門職の立場から見るととてもわかりやすく相談に行く適所がわかりよくまとまっている印象を受けました。
- ・これまでの取り組みが(認知症サポーター養成やむすびあい手帳のことも)盛り込まれ総合的にわかりやすいガイドブックだと感じました
- ・病気の説明から、病気の進行の様子、進行に合わせた家族の対処方法もあり、そして最後に、
- ・地区ごとの相談先もありこころの健康センターまでのっていた。挿絵もあり見やすかった。
- ・その他の意見としては、『周知方法はどのようになっていますか?』という事。
- ・区役所へガイドブックを取りに行ったときに、付いてきました。(ガイドブックと同じ部数渡されたので、ガイドブックと一緒に渡すんだなと思いました・・・)
- ・とてもわかりやすく、内容も盛りだくさんなので、認知症の説明等で使わせて頂いております。少し文字が多いかなとも感じます。
- ・認知症サポーター養成講座に使用するテキストは、万人向け。このガイドブックは認知症をもっと近くに感じる方に向けたものなのかなと思いました。
- ・専門職の立場からは、本人・家族にお話しする場合は、とても良くできたガイドブックだと思います。
- ・介護者の対応が書いてあればいいと感じた。

- ・冊子に受診する際の、ネットのつなぎ方が書いてあったが、認知症を診察できる開業医を載せてもらえるといいと感じた。
- ・主治医に、認知症の受診と言ってもつなげてもらえない事が多く、ケアマネとして困っている。医師が認知症をあまり重要視していない。
- ・一生懸命読まないで理解できない内容と感じる。ケアマネが持参して、冊子を活用して説明している。しかし、一般の人が手にした時に、難しそうだなと感じる。
- ・大変わかりやすく、利用者に説明の時に使用している。
- ・全体的に、情報量が多すぎる。極力、重なる情報や問い合わせ先だけを掲載しておくなどで省くとよいのでは。
- ・読むのではなく、見てわかるチャート式がわかりやすい。
- ・専門用語・医学的な用語は不要と思う。(アミロイド等や英語表記など)
- ・P6~7 全体に文字が小さく、見づらい。目次があっても探しづらい。
  - P10 1 介護保険サービス内容と2 体調面の説明が中途半端では？
  - P13 認知症のガイドブックなので介護保険のサービスよりも、もっと認知症向けのサービス内容を記載してもらいたい。
- ・この冊子が全市民対象と考えると、やはり読んだり・理解したりするのが、なかなか難しい年配世代に内容を合わせる方が良いと感じました。